

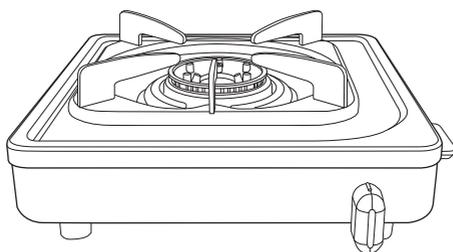
# 取扱説明書

# Paloma

## ガスコンロ

PA-E18S (ステンレストップ)

PA-E18F (フッ素コートトップ)



家庭用

保証書付

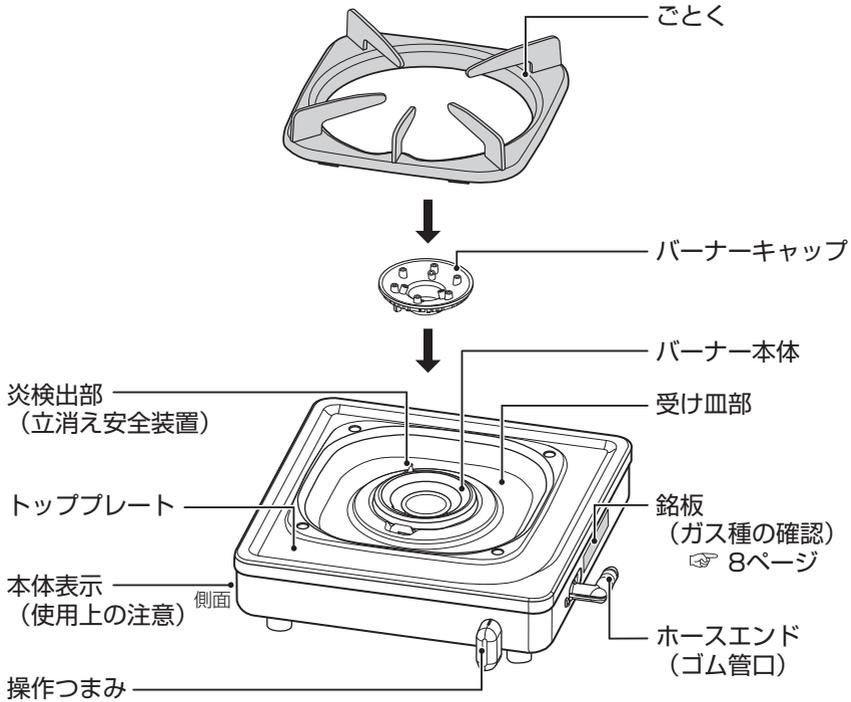
このたびはガスコンロをお求めいただきまして、ありがとうございます。

- 正しく安全にお使いいただくために、ご使用前にこの「取扱説明書」を必ず最初から順番にお読みいただき、よく理解してくださるようお願いいたします。
- この「取扱説明書」をいつでもすぐに取り出せるところに大切に保管しておいてください。  
また、この「取扱説明書」の裏表紙が「保証書」になっています。保証期間、保証内容などを確認のうえ、大切に保管しておいてください。
- この機器は家庭用ですので、業務用のような使い方をされますと著しく寿命が縮まります。
- この機器は国内専用です。海外では使用できません。
- 取扱説明書を紛失された場合はパロマまでお問い合わせください。

## もくじ

各部のなまえ	1
／安心・安全機能	
安全上のご注意	
（必ずお守りください）	2
（設置について）	8
機器の設置	10
部品の取り付けと取り外し	13
使いかた	15
日常点検とお手入れ	16
お手入れのしかた	18
よくあるご質問 (Q&A)	19
保管とアフターサービス	21
仕様	22
保証書	裏表紙

# 各部のなまえ



## 安心・安全機能

### ■立消え安全装置

風や煮こぼれなどで炎が消えたときに自動的にガスを止めます。

### ■機器の点検・取り替え時期について

この機器の設計上の標準使用期間は10年です。製造後10年経過したら、点検または取り替えをおすすめします。

- ・設計上の標準使用期間とは、製品ごとに設定した標準的な使用条件で、適切な取り扱いで使用し、適切な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な年数です。また、設計上の標準使用期間を算出するための設計標準使用条件およびその試験条件は、一般社団法人日本ガス石油機器工業会が定めたガイドラインを基にしています。
- ・標準使用期間を超えて使い続けると、経年劣化によって思わぬ事故に至るおそれがあります。なお、使用条件によっては、設計上の標準使用期間よりも早く劣化することがあります。
- ・この機器の製造年月は銘板に表示しています。銘板の位置と製造年月の確認のしかたは、8ページに記載してあります。

点検や取り替えに関するお問い合わせは、下記の連絡先へお願いします。

株式会社パロマお客様センター

電話番号：0120-378-860 受付時間/平日9:00~17:00(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

- ・点検費用はお客様にご負担いただくこととなります。
- ・パロマホームページ【<http://www.paloma.co.jp>】のアドレスからご確認いただけます。

# 安全上のご注意 (必ずお守りください)

製品を正しくお使いいただくためや、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために必ずお守りいただきたいことを次のように説明しています。

以下に示す表示と意味をよく理解してから本文をお読みください。

 <b>危険</b>	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
 <b>警告</b>	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵表示について次のような意味があります。

 <p>禁止      火気禁止      分解禁止      接触禁止</p>	 <p>必ず行う      換気必要</p>
この絵表示はしてはいけない「禁止」の内容です。	この絵表示は必ず行っていただきたい「強制」の内容です。

## 危険



火気禁止

ガス漏れに気づいたときは…

- ガス事業者の処置が終わるまでの間、絶対に火をつけない
- 電気器具（換気扇その他）のスイッチの入 / 切をしない
- 電源プラグの抜き差しをしない
- 周辺で電話を使用しない



火気禁止

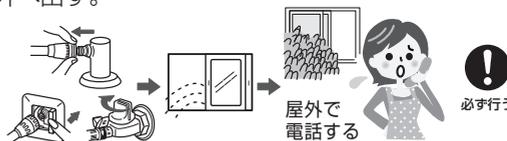
炎や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。



必ず行う

### ■すぐに使用を中止する

- ①すぐに使用をやめ、消火し、ガス栓を閉める。  
また、メーターのガス栓も閉める。  
(つまみのないガス栓の場合はガス栓から接続具を外す。)
- ②窓や戸を開け、ガスを外へ出す。
- ③お近くのガス事業者  
(供給業者)に連絡する。



必ず行う

# 安全上のご注意 (必ずお守りください)

## 警告



禁止

### ■火をつけたまま機器から絶対に離れない、就寝、外出をしない

- 調理物が異常過熱し火災の原因になります。
- 電話や来客の場合は必ず火を消してください。

### ■使用中、使用直後は機器を持ち運ばない

火がついたまま持ち運ばないでください。火災、やけどの原因となります。また、コンロ上の調理物などがこぼれてやけどをするおそれがあります。



禁止

ガスコンロの近くには…

### ■燃えやすいもの、爆発のおそれのあるものを置かない

ふきんやタオル、樹脂製品、電気製品、調理油、ライターなどは火災の原因になります。また、スプレー缶やカセットコンロ用ボンベなどは、熱でスプレー缶内の圧力が上がりスプレー缶が爆発するおそれがあります。

### ■引火のおそれのあるものを使用しない

スプレー、ガソリン、ベンジン、消毒用アルコールなどは、引火して火災のおそれがあります。

手などを消毒用アルコールで消毒した際には、よく乾かしてからご使用ください。

### ■可燃物を置かない

機器の下に新聞紙やビニールシートなどの可燃物を敷かないでください。また、電源コードを通さないでください。火災の原因になります。

ガスコンロの上には…

### ■電気ケトルや樹脂製容器などの調理機器を置かない

火災の原因になります。



禁止

### ■コンロを覆うような大きな鉄板類や鍋は使わない

不完全燃焼による一酸化炭素中毒や機器の異常過熱、ごとくの変形、トッププレートの損傷の原因になります。



### ■市販の補助具は使用しない

市販の補助具(省エネ性をうたった補助具、市販のアルミはく製する受け皿など)を使用しないでください。一酸化炭素中毒や、異常燃焼、点火不良のおそれがあります。また、トッププレートやごとくの変色、変形の原因にもなります。市販の補助具を使用した場合の機器の故障、事故については、当社では責任を負いかねます。



禁止

省エネごとく



禁止

アルミはく製する受け皿

### ■焼網は使用しない

トッププレートに落ちた油などが発火したり、機器の異常過熱のおそれがあります。



焼網

禁止

## 警告



禁止

- トッププレートに衝撃を加えない、トッププレートの上に乗らない  
トッププレートが破損し、異常過熱や火災の原因になります。破損したときは、お買い上げの販売店かパロマまでご連絡ください。



禁止

- 揚げもの調理には使用しない  
調理油の温度が高くなり発火するおそれがあります。



必ず行う

- 点火・消火の確認
  - 点火時は火がついたことを確認する
  - 消火時は操作つまみを消火の状態に戻し、火が消えたことを確認してガス栓を閉める消し忘れによる火災の原因になります。



必ず行う

- 異常時・緊急時の処置
  - ① 点火しない場合、または使用中に異常な燃焼、臭気、異常音を感じた場合、使用中で消火した場合、地震、火災など緊急の場合はただちに使用を中止し、ガス栓を閉める。  
(つまみのないガス栓の場合はガス栓から接続具を外す。)
  - ② 「よくあるご質問(Q&A) (☎ 19~21ページ)」に従い処置する。
  - ③ 上記の処置をしても直らない場合は使用を中止しお買い上げの販売店かパロマまで連絡する。

## 注意



換気必要

- 閉めきった部屋で使用しない
- 使用中は窓を開けるか換気扇を回す  
不完全燃焼による一酸化炭素中毒の原因になります。  
\*ただし、屋内設置(密閉式は除く)の給湯器やふろがまを使用している場合は、換気扇を回さず窓などを開けて換気してください。換気扇を回すと給湯器やふろがまの排気ガスが室内に流れ込むことがあります。



禁止

- 窓から吹き込む風や冷暖房機器の風、扇風機の風などを機器にあてない  
機器焼損や作動不良の原因になります。



禁止

- 幼いお子さまだけで触らせない  
やけどやけがなど思わぬ事故の原因になります。

# 安全上のご注意 (必ずお守りください)

## ⚠ 注意



接触禁止

### ■使用中や使用直後は操作つまみ以外は触らない

機器本体とその周辺および調理道具が熱くなるため、やけどをするおそれがあります。

※特に小さなお子さまがいる家庭では注意してください。



禁止

### ■点火操作時や使用中はバーナー付近に触れたり、顔を近づけない

熱や炎でやけどをするおそれがあります。



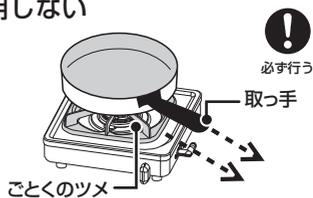
禁止

### ■ごとくをはずして使用しない

鍋などを直接コンロにおいて使用しないでください。不完全燃焼や機器焼損のおそれがあります。

### ■片手鍋・底が凹んだ鍋・中華鍋など底が丸い鍋・底がすべりやすい鍋・径の小さい鍋は不安定な状態で使用しない

不安定な状態で鍋を使用すると、鍋が傾いたりすべってやけどのおそれがあります。鍋の取っ手はごとくのツメの方向に合わせ、取っ手を機器の前面からはみ出さないようにし、不安定な鍋は取っ手を持って調理するなど安定した状態で使用してください。



取っ手とごとくのツメの方向を合わせる



必ず行う

### ■やかん、鍋などの大きさに合わせて火力を調節する

火力が強すぎると、やけどのおそれや鍋などの取っ手が破損する原因になります。

### ■取っ手が着脱できる鍋は取っ手が固定されていることを確認する

取っ手が着脱できる鍋等は食材を動かしたりひっくり返す際に不安定になりますので、取っ手が本体に固定されていることを確認してから、取っ手を持って調理してください。長時間加熱調理する場合には取っ手が損傷しないようにご注意ください。



禁止

### ■コンロには石焼きいもつぼなどの空焼きをする調理具は使用しない

異常過熱による機器損傷の原因になります。



禁止

### ■調理以外の用途には使わない

### ■衣類（ふきんなど）の乾燥などに使用しない

衣服の乾燥や練炭の火起こしなどをすると、過熱・異常燃焼による機器焼損や火災の原因になります。

## 注意



禁止

- 使用中はコンロの奥へ手をのばしたり、身体の一部や衣服を炎・バーナに近づけない
- 点火操作時や使用中はバーナ付近に触れたり、顔を近づけたりしない  
衣服に炎が移ったり、熱や炎でやけどをするおそれがあります。



必ず行う

- 塗装、漆など熱に弱い食卓テーブルの上で使うときは、不燃性の断熱材を敷く



禁止

- この機器の点火装置以外の方法（ライターなど）では点火しないやけどをするおそれがあります。
- 操作部には水や洗剤を直接かけない  
誤作動の原因になります。



必ず行う

- 点火操作をしても点火しない場合は操作つまみを戻して、周囲のガスがなくなってから再度点火操作をする  
すぐに点火操作をすると周囲のガスに引火して衣服に燃え移ったり、やけどをするおそれがあります。



必ず行う

機器の点検・お手入れするときは…

- 機器が冷めていることを確認する  
調理後は高温のため、触るとやけどのおそれがあります。
- ガス栓を閉める  
誤って点火した場合にやけどのおそれがあります。
- 必ず手袋をして行う  
手袋をしないでお手入れすると機器の突起物などでけがをすることがあります。
- バーナーキャップを水洗いしたときは水気を十分ふき取る
- バーナーキャップに煮こぼれしたときは必ずお手入れする  
炎口がつかったり、ぬれたまま使用すると点火不良や異常燃焼の原因になります。

# 安全上のご注意 (必ずお守りください)

## おねがい



必ず行う

### ■突沸現象に注意する

カレー、ミートソースなどのとろみのある料理や、みそ汁などを煮たり温めたりするときは突沸に注意してください。



### 【突沸現象について】

突沸現象とは、突然に沸騰する現象です。水、牛乳、豆乳、酒、みそ汁、コーヒーなどの液体を温めるときに、ささいなきっかけ（容器をゆする、塩、砂糖などを入れる）で生じます。直火でこれらを温めるときにも起こることがあります。この現象が調理中に起きると、鍋がはねあがったり、高温の液体が飛び散るため、やけどやけがをするおそれがあります。

### 【突沸現象の予防方法】

- カレー、ミートソースなどのとろみのある料理やみそ汁などの汁物の温めは弱火でかき混ぜながら加熱する。(強火で急に加熱しない。)
- 熱々の汁物に塩、砂糖などの調味料を入れる場合は、少し冷ましてから行う。
- 鍋の大きさにあった火力で加熱する。

■この製品は家庭用ですので業務用のような使用をすると機器の寿命が著しく短くなります。この場合の修理は保証期間内でも有料となります。

■使用中もときどき正常に燃焼していることを確認してください。

■燃焼中、ガス栓を操作しての消火はしないでください。

■初めて使うときやしばらく使わなかったときなど点火しにくい場合があります。ゴム管内に空気が入っているためです。繰り返し点火操作してください。

■調理中に鍋をのせかえるときは、必ず火を消してください。

■トッププレートの上でIHジャー炊飯器、卓上型IHクッキングヒーターなど電磁誘導加熱の調理機器を使わないでください。機器が故障する原因になります。

■煮こぼれに注意し、火力調節してください。煮こぼれが機器内部に入った場合や、トッププレート、ごとく、バーナーなどに煮こぼれが焼きつくと機器を傷めるおそれがあります。

■機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼してください。もし、お客様で旧機器の処理をする場合、正規の処理を行ってください。

■コンロ下（コンロ台）は、水やゴミなどがたまらないように定期的にお手入れしてください。お手入れの際は、機器が冷めていることを確認し、けがをしないように手袋をして行ってください。

# 安全上のご注意 (設置について)

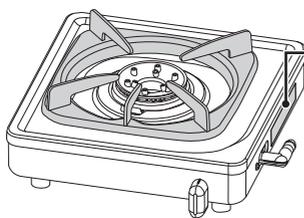
## 警告



禁止

■機器の銘板に表示してあるガス種（ガスグループ）以外のガスでは使用しない

- 供給ガスと表示のガス種が一致しないと不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、異常点火でやけどをしたり、機器が故障する場合があります。
- 特に転居した場合は必ずガス種が一致しているか確認してください。  
※銘板は機器右側側面に貼ってあります。供給ガスの種類がわからない場合、または銘板に表示してあるガス種と一致しない場合は、お買い上げの販売店かお近くのガス事業者（供給業者）までご連絡ください。



銘板

【例】銘板

ガス種（ガスグループ）

ガス消費量

器具名：PA-E18S  
LPガス用 A1-1-2 2.95kW  
\*\*\*\*\* ハロマ

型式名

製造年月・製造番号

【例】 16・11-123456  
製造年月 製造番号  
(2016年11月)



分解禁止

■絶対に改造・分解は行わない

不完全燃焼による一酸化炭素中毒やガス漏れなどの思わぬ事故や故障、火災の原因になります。



分解禁止



必ず行う

■ホースエンド（ゴム管口）のキャップを外し、汚れやゴミがないことを確認する

ガス漏れの原因になります。



キャップを外し確認

必ず行う

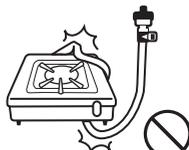


禁止

■ガス用ゴム管（ソフトコード）、ガスコードは

- ①機器の上や下を通さない
- ②高温部に触れない
- ③他の機器で過熱されるような所に通さない
- ④折れ、ねじれ、引っ張りなどのないようにする

使用時は周囲が高温になりゴム管がとけてガス漏れの原因になります。



禁止

# 安全上のご注意 (設置について)

## 警告



禁止

### ■ガス用ゴム管 (ソフトコード) は

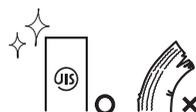
- ① 継ぎ足しや二又分岐は絶対にしない

ガス漏れの原因になります。



- ② ひび割れたり、古くなったガス用ゴム管は使用しない

ガス漏れの原因になります。ときどき点検して古くなった場合は取り替えてください。



必ず行う

- ③ 検査合格マーク、またはJISマークの入っているものを使用する

ガス用ゴム管、ガスコード以外は耐久性に欠けガス漏れの原因になります。ビニール管は絶対に使用しないでください。



- ④ ホースエンド (ゴム管口) の赤い線まで差し込んでゴム管止めでしっかりと止める

しっかり止めないとガス漏れの原因になります。



必ず行う

### ■ガスコードは

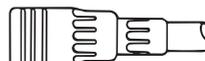
スリムプラグおよびガスコードの取扱説明書に従って正しく接続する

「機器の設置」の「ガスコード接続の場合 (P.12ページ)」を参照してください。間違った接続はガス漏れの原因になります。

ホースエンド  
(ゴム管口)

器具用  
スリムプラグ

ガスコード



必ず行う

## 注意



禁止

### ■強い風が吹き込むところに設置しない

点火不良や途中消火、機器内部の損傷、安心・安全機能が正常に働かないなどの原因になります。

## ⚠ 注意



禁止

■落下物の危険があるところに設置しない  
機器の上に落ちたものが燃えて、火災の原因になります。

■照明器具などの樹脂製品の下に設置しない  
照明器具のかさなどが変形・変色することがあります。

■湯沸器の下に設置しない  
湯沸器の不完全燃焼防止装置が作動し火がつかない場合があります。また、機器の故障や寿命を縮める原因となります。

■車両・船舶には設置しない  
使用中に機器が傾いたりし、火災ややけどのおそれがあります。



必ず行う

■水平で安定した台の上に設置する  
機器が傾いていると、調理中の鍋などが滑り落ちて、やけどやけがをすることおそれがあります。また事故や故障の原因になります。

■換気が良いところに設置する  
換気が不十分の場合、一酸化炭素中毒の原因になります。

## 機器の設置

### 1 準備と確認をする

箱から機器を取り出し、あて紙や梱包部材やテープを取り除いてください。

- 手袋をし、機器の底部にしっかり手をかけ、持ち上げてください。
- トッププレートを持って取り出さないでください。脱落のおそれがあります。

ご家庭のガスの種類と機器の銘板に表示されているガスの種類が合っているか確認してください。合っていない場合は設置をやめて、お買い上げの販売店かお近くのガス事業者まで連絡してください。

# 機器の設置

## 2 設置場所を確認する（周囲の防火措置）

一酸化炭素中毒や火災、やけどの原因となりますので正しく設置してください。

※防火措置は各地の火災予防条例に従って行ってください。



下記の条件を満たしている場所をお選びください。

※設置後に、機器の周囲の改装（吊り戸棚をつけるなど）を行う場合も設置基準をお守りください。

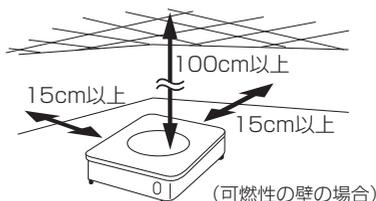


必ず行う

### ■離隔距離について

周囲に可燃性の壁や棚（ステンレスやタイルなどの不燃材を直接貼り付けた可燃性の壁を含む）のある場合、トッププレートより上の側面および後面は15cm以上、上部はトッププレート上面より100cm以上離してください。

※上記の離隔距離がとれない場合は、下記にそって適切な防火措置を行ってください。



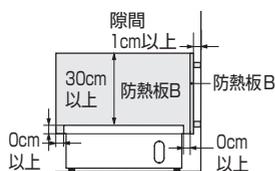
（可燃性の壁の場合）

### ■防熱板について

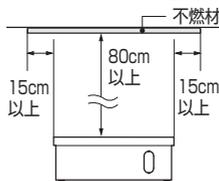
側面・背面および流し台などの側面は図のように別売の防熱板B、C（[P.22](#)ページ）を取り付けてください。上方は金属以外の厚さ3mm以上の不燃材を図のように取り付けてください。

※防熱板Bは、壁とトッププレートとのすき間が25mm以上必要で、取り付け方法は壁にネジ止めとなります。

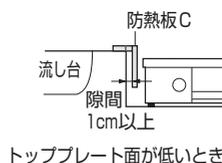
#### 側面・背面



#### 上方



#### 流し台などの側面



#### 別売防熱板の種類

品名	高さ	幅	品名	高さ	幅
防熱板B(側面用)	340mm	500mm	防熱板C(側面用)	135mm	480mm

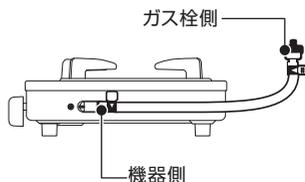
### 3 ガス接続をする

ゴム管接続の場合

#### 用意するもの

- φ9.5mmガス用ゴム管（JISマーク入り・新品）1本（市販品）  
（都市ガス用とLPGガス用があります。お使いのガスに合わせてお選びください。）
- ゴム管止め2個（市販品）

- ①ガス用ゴム管を高温になる部分に触れないように適切な長さに切る。
- ②機器側のホースエンド（ゴム管口）のキャップを外す。  
（キャップは本機器専用ですので、他に流用しないでください。）
- ③ガス栓側・機器側両方のホースエンド（ゴム管口）の赤い線までガス用ゴム管を差し込みゴム管止めで止める。
- ④ガス栓を開け接続部からガスの臭いがしないことを確認し、ガス栓を閉める。

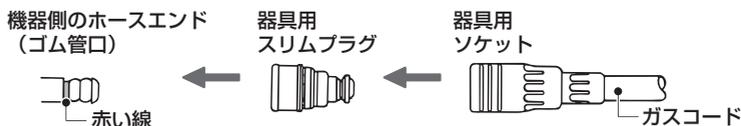


#### 用意するもの

- 器具用スリムプラグ（市販品）
- ガスコード（市販品）

※ガスコードを接続する場合は、ガス栓側がコンセント接続口になっていないと接続できません。従来のホースエンド接続口（ゴム管口）で使用する場合は、市販のガス栓用プラグが必要です。

- ①機器側のホースエンド（ゴム管口）のキャップを外す。  
（キャップは本機器専用ですので、他に流用しないでください。）
- ②器具用スリムプラグを機器のホースエンド（ゴム管口）の赤い線までしっかり差し込み取り付ける。
- ③次にガスコードの器具用ソケットを器具用スリムプラグに“カチッ”と音がするまで差し込む。（器具用スリムプラグに同梱してある取扱説明書に従ってください。）



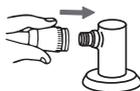
ガス機器側の接続

ガスコード接続の場合

ガス栓側の接続

#### ガス栓を開ける

コンセント継手を“カチッ”と音がするまで確実に差し込む



#### ガス栓を閉める

コンセント継手のすべりリング（白色）を手前に引く



コンセント継手を差し込むとガス栓が開き、外れるとガス栓が閉まります。  
※ガス栓がガステーブル用であることを確認してください。

ガスコンセントの取り付け

#### フタを開ける

フタの右端を押す



#### 取り付ける

“カチッ”と音がするまで差し込む



#### 取り外す

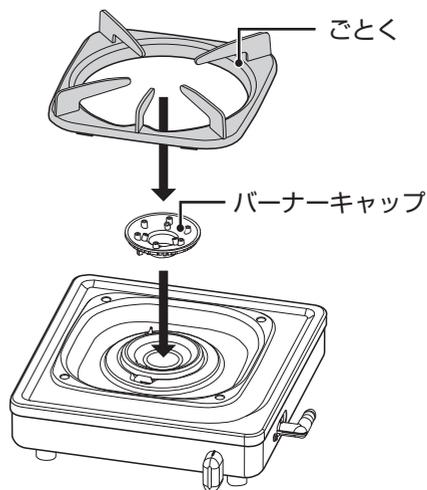
右端にあるフタを押す



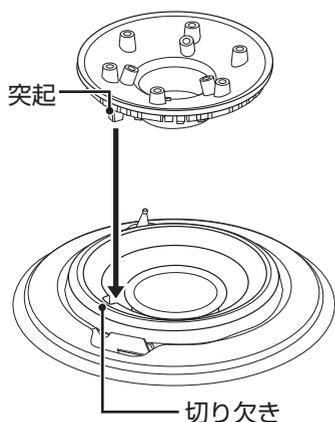
ガスコンセントは、ガスコードなどを取り付けると自動的に開栓し、取り外すと自動的に閉栓します。

# 部品の取り付けと取り外し

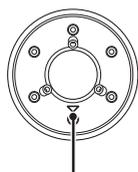
バーナーキャップやごとくを正しく取り付けてください。



## バーナーキャップ

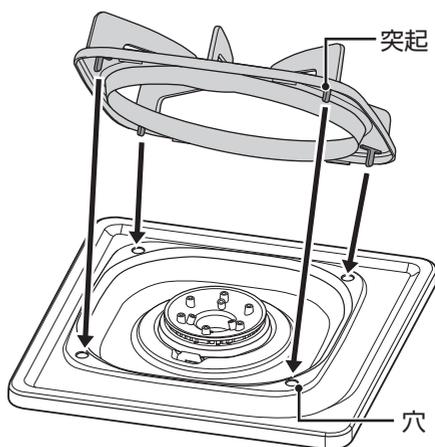


バーナーキャップを上から見た図

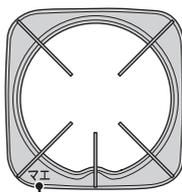


バーナーキャップ上面▽マークを手前側にし、突起をバーナー本体の切り欠きにはめます。

## ごとく



ごとくを上から見た図



ごとく上面の「マエ」マークを手前側にし、裏側の突起（4か所）をトッププレートの穴にはめます。

※片手鍋を使用するときは、3本並んだつめ側に鍋の取っ手を向けると、安定して使用することができます。

# ⚠ 注意



禁止

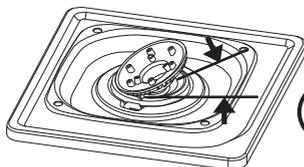
## ■バーナーキャップやごとくは誤った取り付けでは使用しない

- 点火しない場合があります。

<バーナーキャップ>

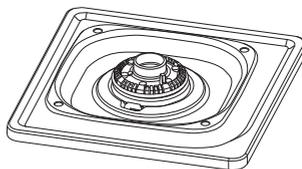
- 炎のふぞろいや逆火で不完全燃焼による一酸化炭素中毒のおそれや、バーナーキャップの変形、火災の原因になります。
- 機器の中に炎がもぐりこんで焼損する原因になります。

バーナーキャップの浮き・傾き



禁止

バーナーキャップの裏返し

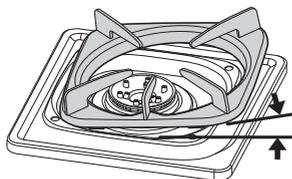


禁止

<ごとく>

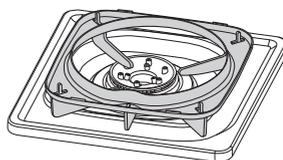
- 不完全燃焼や火災、故障の原因になります。
- 鍋などが不安定な状態になり、傾いたり、倒れたりするおそれがあります。

ごとくの浮き・傾き



禁止

ごとくの裏返し



禁止

# おねがい

バーナーキャップやごとくは消耗部品です。バーナーキャップは厚みが薄くなったり、変形して炎がふぞろいになった場合は交換してください。交換部品（有料）としてご用意しています。お買い上げの販売店かパロマまでお問い合わせください。

👁 22ページ

# 使いかた

## 準備

操作つまみが「止」の位置にあることを確認し、ガス栓を全開にする



ごとくの中央に鍋などを置く



1 2 3

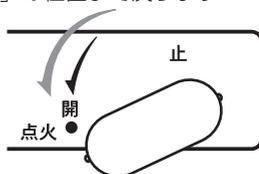
## おねがい

- 鍋についた水滴はふき取ってからごとくにのせてください。余分な熱が必要になるうえ、水滴がバーナーに落ちて目づまりし、点火不良になることもあります。
- 鍋をごとくにのせてから点火したほうがより点火が確実になります。
- 調理によってはひどく焦げついてしまう場合があります。焦げつきやすい調理の場合、弱火（最弱火力）で様子を見ながら調理してください。  
《焦げつきやすい調理の例》  
水分が少なく、調味料が多い調理・カレーやシチューの再加熱など

## 1 点火する

操作つまみを「点火」の方向へ「カチッ」と音がするまで回し、点火したことを確認してからそのまま数秒間保持する

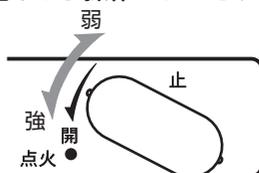
保持した後、手を離すと操作つまみは「開」の位置まで戻ります



手を離すと消火する場合は、保持時間の不足です。操作つまみを戻して周囲にガスがなくなるのを待ってから、再度点火操作し、保持時間を長くしてください。

## 2 火力調節する

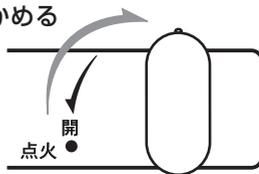
炎を見ながら操作つまみをゆっくり回す



- 弱火でお使いのときは火が途中で消えていないか気を付けてください。
- 使用中もときどき燃焼を確かめてください。

## 3 消火し、ガス栓を閉める

①操作つまみを「止」の位置まで確実に回し、消火したことを確かめる



②ガス栓を閉める



# 日常点検とお手入れ

- 日常の点検・お手入れは必ず行ってください。
  - 煮こぼれや鍋をひっくり返すなど、機器の内部に多量の煮汁などが入った場合、機器の故障につながるおそれがあるため、点検をおすすめします。（有料）
  - ご使用上支障がない場合でも、安心してより長くご使用いただくために年に1回程度の定期点検をおすすめします。（有料）
- ※点検についてはお買い上げの販売店かパロマまでお問い合わせください。

## ⚠ 注意



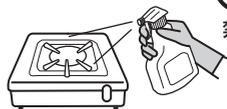
禁止

### ■ 機器を水につけたり、水をかけたりしない

不完全燃焼・故障のおそれがあります。

### ■ スプレー式の洗剤はスプレーで直接洗剤を機器にかけない

機器内部に洗剤が入ると、部品の作動不良や、腐食の原因になり、安全性を損なう可能性があります。使用する場合はスポンジや布に含ませてから使用してください。



禁止



必ず行う

### ■ 点検・お手入れの際は必ず手袋をして行う

手袋をしないでお手入れすると機器の突起物などでけがをすることがあります。



手袋



必ず行う

## おねがい

- 点検とお手入れは機器が冷め、ガス栓を閉め、手袋をしてから行ってください。（機器が冷めるまで時間がかかります。）
- 故障、または破損したと思われる場合は使用しないでください。
- 取り外した部品は落とさないように注意してください。けがや破損の原因になります。
- 工具を使用しての分解は絶対にしないでください。
- 「よくあるご質問（Q&A）」19～21ページを参照していただき、処置に困る場合はお買い上げの販売店かパロマにご相談ください。お客様自身での修理は絶対にしないでください。

## 点検のポイント

点検は常時行ってください。

- ・ 機器のまわりに可燃物などはありませんか？ 3ページ
- ・ 各部品は正しく取り付けられていますか？ 13・14ページ
- ・ 汚れていませんか？ 18・19ページ
- ・ ゴム管は正しく接続されていますか？古くなっていませんか？ 8・9・12ページ
- ・ ガス臭くありませんか？

## お手入れの準備

- ① 機器が冷めていることを確認する。
- ② ガス栓を閉める。
- ③ 手袋をする。

# 日常点検とお手入れ

## お手入れの道具・使用する洗剤について

お手入れには台所用中性洗剤をお使いください。

洗剤は台所用中性洗剤を薄めて使い、お手入れの最後には必ず水ぶきし、乾いた布でふき取り、水気や洗剤を残さないようにしてください。コンロのお手入れには、使用に適さない道具や洗剤があります。

### ○ 適しているもの



台所用  
中性洗剤



やわらかい  
スポンジ



歯ブラシ



やわらかい布

#### ■ トッププレートのみ



メラミンフォーム  
スポンジ



クリーム  
クレンザー

※ただし、表面に傷がつく場合があります。  
※トッププレート以外には使用しないでください。  
※フッ素コートトッププレート (PA-E18F) に  
関しては18ページをご覧ください。

※パロマ専用クリーナーを別売部品としてご用意しています。

### × 適さないもの



スポンジの硬い面



ナイロンたわし



硬い歯ブラシ



たわし



金属たわし



重曹



シンナー  
ベンジン  
アルコール



酸性洗剤  
アルカリ性洗剤  
漂白剤



弱酸性洗剤  
弱アルカリ性洗剤



クレンザー



みがき粉



歯みがき粉

#### 直接かけて使用してはいけないもの

##### スプレー式洗剤

→洗剤が機器内部に入ると電子部品などに付着して、作動不良や腐食など機器故障の原因になります。



#### 絶対に使用してはいけないもの

可燃性スプレー・浸透液・潤滑剤  
→引火して火災の原因になります。



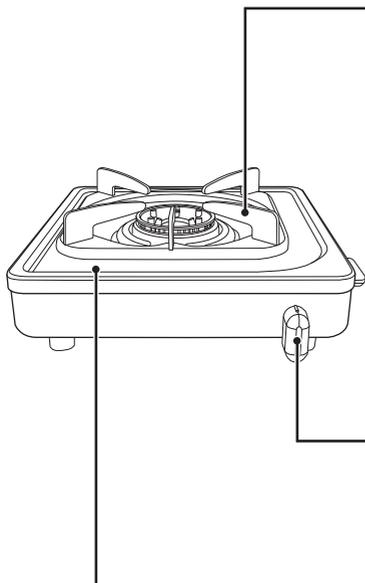
- シンナー・ベンジンや酸性・アルカリ性洗剤などは、損傷・はがれ・表面の変質・変形・さび・割れの原因になります。
- 印刷・塗装面には、みがき粉、たわしなど硬いものを使用すると表面を傷つける場合があります。
- スプレー式洗剤を使用する場合は、直接ふきかけるのではなくスポンジなどに含ませてからご使用ください。

## おねがい

- 汚れや煮こぼれはそのつどお手入れしてください。そのままにしておくと汚れが落ちにくくなり、早く傷みます。
- 道具や洗剤を目立たない部分で試してから、使用してください。
- 食器洗い乾燥機で洗う場合、専用洗剤・食器洗い乾燥機の取扱説明書もよく読み、お手入れで使用できる洗剤が確認してください。食器洗い乾燥機で洗ったり、煮洗いした場合は、変色したりツヤがなくなったりする場合があります。

# お手入れのしかた

- お手入れは機器が冷め、ガス栓を閉め、手袋をしてから行ってください。
- 汚れたらそのつどお手入れしてください。お手入れ後は水気や洗剤を残さないようにしっかりふき取ってください。



## ごとかく

台所用中性洗剤で水洗いし、乾いた布で水気をふき取る

### ■汚れが落ちないとき

熱めのお湯で浸し置きした後、台所用中性洗剤で水洗いしてください。それでも汚れが落ちない場合は煮沸してください。

- ①大きな鍋に水を入れ、ごとかくなどをためて火にかけます。
- ②沸騰した状態で30分程度加熱し、汚れが浮きだしたら火を止めます。
- ③十分に冷ました後、スポンジなどで水洗いし、水気をふき取ります。

## 機器表面・操作部

台所用中性洗剤を含ませたスポンジや布でふき取る

※機器内部に洗剤や水気が入らないように注意してください。

## トッププレート

台所用中性洗剤や水を含ませた布などのやわらかいもので汚れをふき取り、乾いた布で洗剤や水気をふき取る

### ■汚れがこびりついたとき

- ①水で薄めた台所用中性洗剤で湿らせたキッチンペーパーを汚れた部分に貼り付けます。
- ②汚れが浮きあがってきたらやわらかい布でふき取ります。

### ■それでも汚れがとれないとき

- ①くしゃくしゃにしたラップにクリームクレンザーを塗り、こすります。
- ②汚れが取れたら、やわらかい布で水ぶきし、乾いた布で仕上げます。

### PA-E18F

#### フッ素コートトッププレートについて

- お手入れにはスポンジや布などのやわらかいものをお使いください。ナイロンたわし、金属たわし、みがき粉などの固いものは表面を傷つけるので使わないでください。
- スポンジでもとれないしつこい汚れは、乾いた布や柔らかい紙をお使いください。
- 中性洗剤以外の洗剤(レンジクリーナー、漂白剤などのアルカリ性洗剤)は使わないでください。フッ素コートを傷め、シミや変色の原因になります。
- 汚れたままにしておくとシミになることがあります。
- 長期間のご使用によりフッ素コートが変色することがありますが、フッ素の効果には影響ありません。

## おねがい

メラミンフォームスポンジやクリームクレンザーはトッププレートにのみご使用ください。

# お手入れのしかた

## バーナーキャップ

台所用中性洗剤で水洗いし、乾いた布で水気をふき取る

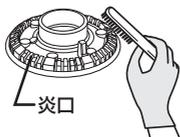
- 表側の塗装部分はスポンジなどのやわらかいもので台所用中性洗剤を使用して洗ってください。万一、塗装部分がはがれてもそのままお使いになれます。
  - お手入れの後は浮き・傾きのないように取り付けてください。
- ※汚れや水気が付いていると点火しにくくなります。



### ■炎口が目づまりしていたら

炎がふぞろいになったときは、穴やみぞを歯ブラシやつまようじなど先の細いものなどで掃除してください。

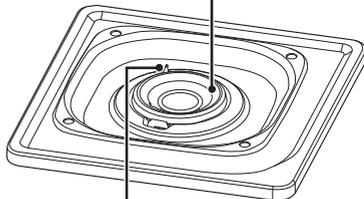
※目づまりをすると点火不良や不完全燃焼の原因になります。



## バーナー本体

やわらかい布で表面の汚れをふき取る

※洗剤が流れ込まないように注意してください。機器内の腐食の原因になります。



## 炎検出部

汚れや水気が付いたときはやわらかい布でふき取る

※汚れや水気が付いていると点火しにくくなります。

※取り付け位置を動かしたり、傷をつけないでください。故障の原因になります。

先端がとがっています。けがをしないように注意してください。

# よくあるご質問 (Q&A)

故障かな？と思ったら、次のことをお調べください。次の現象に当てはまらないとき、また処置をしてもなお異常があるときは、お買い上げの販売店かパロマまでご連絡ください。

	ご質問	原因/処置方法	参照
Q & A	点火しない/ 点火しにくい	ガス栓の開きが不十分だったり、閉めていると点火できません。ガス栓をいったん閉めてから全開にしてください。	15
		ゴム管内に空気が残っていると点火しない場合があります。（朝一番や長期間使用しなかった場合など）点火操作を繰り返してください。	7
		ゴム管が折れ曲がったり、つぶれたり、接続が不十分であると点火しない場合があります。ゴム管の折れ曲がり、つぶれを直し、正しく接続してください。	8 9
		点火操作時に、操作つまみを「点火」の位置まで回し、そのまま数秒間保持しないと点火しません。保持時間を長くしてください。	15
		LPガス使用の場合、LPガスがなくなりかけていると点火しないことがあります。ボンベの交換をお近くのガス事業者に依頼してください。	—

# よくあるご質問 (Q&A)

ご質問	原因/処置方法	参照	
点火しない/ 点火しにくい	ガスメーター（マイコンメーター）がガスを遮断している場合があります。お近くのガス事業者へ連絡してください。	—	
	コンロの配管内に空気が残っている状態でガス栓を急に開けると、ガスが急に流れ、ガス栓の安全装置が働き、点火しないことがあります。ガス栓を一度閉め、再度ゆっくり開けてください。ガス栓の安全装置がリセットされガスが正常に流れます。	—	
	炎検出部がぬれたり、汚れたりしていると点火しない場合があります。炎検出部をお手入れし、洗剤や水滴がないようにやわらかい布でしっかりふいてください。	19	
点火しない/ 点火しにくい/ 炎が安定しない/ 炎の燃えかたや 色がおかしい	パナーキャップの炎口が水滴や汚れにより目づまりしていると点火しない場合があります。パナーキャップを歯ブラシなどでお手入れし、洗剤や水滴がないように乾いた布でしっかりふいてください。	19	
	パナーキャップやごとくが正しく取り付けされていないと点火しない場合があります。浮きや傾きのないように正しく取り付けてください。	13 14	
コンロ	炎が安定しない/ 炎の燃えかたや 色がおかしい	換気をしないと正常に燃焼しない場合があります。使用中は窓を開けるか換気扇を回すなど換気をしてください。	4
		窓から吹き込む風や冷暖房機器の風、扇風機の風などが当たっていると、正常に燃焼しない場合があります。炎に風が当たらないように使用してください。	4
		加湿器を使用すると水分に含まれるカルシウムにより炎が赤くなる場合があります。異常ではありません。	—
		火力が変わるときに炎が一瞬大きくなったり、黄色くなる場合があります。異常ではありません。	—
		消火後も数秒間は炎口に小さな炎が残ることがあります。消火操作後、コンロパナー内に残ったガスの燃焼によるもので、異常ではありません。	—
		ご使用のガスの種類と機器が適合していないと、ススが発生したり、炎が赤くなる場合があります。機器側面に貼ってある銘板でガス種を確認してください。合っていない場合はお買い上げの販売店かお近くのガス事業者（供給業者）までご連絡ください。	8
鍋底がひどく 焦げついて しまった	水分が少なく、調味料が多い料理やカレー・シチューの再加熱には注意してください。焦げつきやすい料理の場合、弱火で様子を見ながら調理してください。	15	
	鍋底にこんぶや竹皮などを敷くと、焦げつきがひどくなる場合があります。ときどきかき混ぜたり、火加減を調節しながら調理してください。	—	
調理音	コンロの点火・消火のときに「ポッ」という音がする	点火・消火時に「ポッ」という音がする場合があります。ガスに着火する際や、ガスが燃え尽きる際に発生する音で、異常ではありません。	—
	使用中「シャー」という音がする	燃焼中のガスの通過音です。異常ではありません。万が一ガス臭い場合は使用を中止し、お買い上げの販売店かパロマまでご連絡ください。	—
	点火後や消火後にきしみ音がする	加熱や冷却により金属が膨張・収縮する音です。異常ではありません。	—

# よくあるご質問 (Q&A)

	ご質問	原因/処置方法	参照
その他	部品の注文や修理を依頼したい	修理は、パロマサービスコールセンター（☎0120-193-860）にて受け付けています。部品の注文は、お買い上げの販売店や、パロマサービスセンターにて受け付けていますが、弊社ホームページ内公式部品サイト「パロマ+プラス」でもお買い求めいただけます。	21 22
	機器や部品（ごとく・バーナーキャップ）が変色する	長年の使用で傷んでいきます。異常ではありません。ごとく、バーナーキャップは消耗部品です。傷んだ場合は交換部品をお買い求めください。	22
		シンナーやベンジン、酸性・アルカリ性の洗剤を使用すると変色する場合があります。お手入れの際は、シンナーやベンジン、酸性・アルカリ性の洗剤を使用しないでください。台所用中性洗剤を薄めて使用し、お手入れの最後には必ず水ぶきし、乾いた布でふき取り、水気や洗剤を残さないようにしてください。	17

## 保管とアフターサービス

### 保管（長期間使わないとき）について

- ① ガス栓を閉め、ゴム管（ガスコード）を外してください。  
（つまみのないガスコンセント接続の場合はガスコンセントからソケットを外す）
- ② ゴミ・ほこりが入らないようにビニールやテープなどでホースエンド（ゴム管口）をふさいでください。
- ③ お手入れしておくとお次回使用するとき便利です。☎16～19ページ

### アフターサービスについて

#### ■点検・修理を依頼される時

「よくあるご質問 (Q&A)」19～21ページを見てもう一度確認していただき、それでも直らないときは、お買い上げの販売店かパロマサービスコールセンターまでご連絡ください。パロマサービスコールセンターは24時間受付いたしますので、ご利用ください。

なお、アフターサービスをお申しつけのときは右記の内容をお知らせください。

- ① 品名・器具名（銘板表示のもの）
- ② 現象（できるだけ詳しく）
- ③ ご購入日・ガス種
- ④ ご住所・お名前・電話番号
- ⑤ ご訪問希望日

修理についてのお問い合わせは	パロマサービスコールセンター <b>0120-193-860</b>	受付時間：24時間修理受付
----------------	---------------------------------------	---------------

商品について不明な点はパロマお客様相談室までご連絡ください。

商品についてのお問い合わせは	パロマお客様相談室 <b>052-824-5145</b>	受付時間：平日 9:00～18:00 （土・日・祝日・弊社指定定休日を除く）
	〒467-8585 名古屋市瑞穂区桃園町6番23号	

\* 住所・電話番号などは変更することがありますのであらかじめご了承ください

## アフターサービスについて

### ■ガスの種類が変わるとき

転居などによりガスの種類が変わるときは、ガス機器の調整が必要となりますので、お買い上げの販売店かパロマまでご連絡ください。この場合、費用は保証期間中でも有料となります。

### ■補修用性能部品の保有期間について

補修用性能部品は当製品製造打ち切り後、5年間保有しております。

### ■お客様の個人情報の取り扱いについて

- 当社はお客様よりお知らせいただいた、お客様のお名前・ご住所・電話番号などの個人情報をサービス活動および、安全点検活動のために利用させていただく場合がありますのでご了承ください。
- 当社はお客様の個人情報を、下記の場合を除いて第三者へ開示・提供いたしません。
  - ・修理やその確認業務を当社の協力会社に委託する場合
  - ・法令に基づく業務の履行、または権限の行使のために必要な場合
  - ・その他の正当な理由がある場合
- 当社はお客様の個人情報を適切に管理します。

### ■お客様にて取り替え可能な消耗部品・別売部品のご購入について

お客様にて取り替え可能な消耗部品・別売部品は当社の純正部品以外は使用しないでください。ご購入は、お買い上げの販売店かパロマサービスセンター、またはパロマホームページ内公式部品販売サイト「パロマ+プラス」(<https://www.paloma-plus.jp/>)にてお買い求めください。お買い求めの際は、必ず銘板に記載してある器具名をお知らせください。商品の発送には別途送料がかかります。

#### <別売部品/消耗部品>

部品名
防熱板B
防熱板C
パロマ専用クリーナー
ごとく
バーナーキャップ

※防熱板は「機器の設置」を見て、取り付けかたを確認してください。詳細はお買い上げの販売店かパロマまでおたずねください。

※型式・仕様については変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。

パロマの部品販売サイト

**パロマ+プラス**



パロマ製品の消耗部品・別売部品をインターネット販売サイトよりご購入いただけます。

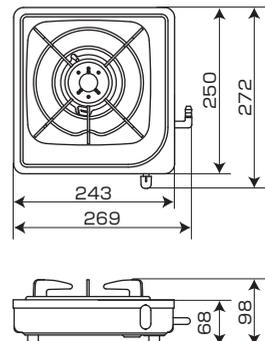
<https://www.paloma-plus.jp/>

## 仕 様

品 名	PA-E18S・PA-E18F
器 具 名	PA-E18S・PA-E18F
型 式 名	A1-1-2
種 類	ガスコンロ
点火方式	圧電点火式
ガス接続	φ9.5mmガス用ゴム管
質量(本体)	1.5kg
外形寸法	高さ98mm×幅269mm ×奥行272mm
安心・安全機能	立消え安全装置
付属品	取扱説明書

使用ガス		ガス消費量
ガスグループ		kW
都市ガス用	12A	3.26
	13A	3.50
LPガス用		2.95

#### ■外形寸法 (単位: mm)



◎本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。

# 保証書

品名	ガスコンロ PA-E18S・PA-E18F
----	-----------------------

このたびは当社製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書はお客様の正常な設置・使用状態において万一機器本体が故障した場合には、本書の記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

**《無料修理規定》**

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った正常な設置・使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店かパロマが無料修理致します。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店かパロマにご依頼のうえ、本書をご提示ください。なお、離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、パロマへご相談ください。
5. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
  - (イ) 取扱説明書によらないでご使用になったり使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
  - (ロ) お買い上げ後の取付場所の移動（取付工事依頼の必要な機器の場合）、落下等による故障および損傷
  - (ハ) 公害、火災、水害、地震、落雷、凍結等の天災地変、ねずみ・鳥・くも・昆虫類の侵入、異常電圧（電気部品搭載の機器の場合）、供給事情（燃料・給水等）などによる故障および損傷
  - (ニ) 一般家庭用以外（例えば、業務用使用、車輛、船舶への搭載等）に使用された場合の故障および損傷
  - (ホ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入捺印のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
  - (ヘ) 消耗部品の取替えおよび保守等の費用
  - (ト) 本書の提示がない場合
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid only in Japan.）
7. 本書は再発行致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

お客様	お名前	様	保証期間	お買い上げ	年	月	日から1年	
	ご住所	〒		販売店名	店名			
					住所			
	お電話				電話番号			

株式会社 **パロマ**

〒467-8585 名古屋市瑞穂区桃園町6番23号  
TEL 052 (824) 5145



修理記録	年月日	修理内容	サービス員 印

\* この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。なお、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店かパロマにお問い合わせください。  
\* 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくはアフターサービス欄をご覧ください。



48340420008